

【南アルプス市】 校務 DX 計画

南アルプス市では、GIGA スクール構想に基づき、令和 2 年度から市内全ての小・中学校で 1 人 1 台端末（タブレット端末）を導入し、通信ネットワークの構築やクラウドサービスの積極的な活用等、児童生徒一人ひとりが Society5.0 時代を生き抜く力を育むために必要な環境を整備してきた。教職員においても今後の校務の円滑化・効率化の観点から、さらなる校務 DX を進めていく必要がある。

「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、以下の取組や検討を行い、校務 DX を進める。

1. 校務支援システムの活用

小学校・中学校における教職員の校務軽減、効率化、および児童生徒に対する教育の質向上を実現するため、校務支援システム活用により教職員の資質・指導力の向上を図っている。

＜導入実績、今後の予定＞

- ・平成 25 年度：校務支援システム（南アルプス市単独調達）
- ・令和 4 年度：統合型校務支援システム（山梨県共同調達）
- ・令和 8 年度：次世代統合型校務支援システム（山梨県共同調達）

2. アクセス制御による対策（ゼロトラスト）整備

現行での校務支援システムの運用はネットワーク分離（3 層分離）による対策を講じた環境が前提となっているが、これは強固なセキュリティを担保できる一方、限定的な環境でのアクセス、ファイル中継の手間等により、教職員の負担となる部分があった。

これらを解消するため、どのようなネットワークからでもシステムが利用可能かつセキュリティを担保したアクセス制御による対策（ゼロトラスト）を講じ、校務支援システム運用が実施できる環境整備を行う。

また、教職員が柔軟かつ安全安心に場所を選ばない働き方（ロケーションフリー）として、自宅よりリモートアクセス環境を継続して運用する。

3. 教育情報セキュリティポリシー策定、およびセキュリティ教育

GIGA スクール構想における児童生徒 1 人 1 台端末、1 人 1 アカウント、それらを利用してクラウドへのアクセスに対する適切な運用、および学校における校務 DX を実現するため、情報セキュリティポリシーの策定（改定含む）、セキュリティ教育により、南アルプス市全体でセキュリティ対策を講じている。

4. 教育ダッシュボードの活用

児童生徒一人一人の各種「教育データ」（学習系データ等）を収集・分析・可視化する教育ダッシュボードを効果的に活用して業務及び授業の改善につなげることが期待されている。南アルプス市にとって最適な教育ダッシュボードの検証、導入を予定する。

5. FAX・押印の見直し及びペーパーレス化の推進

教職員が場所に縛られない働き方（ロケーションフリー）の考え方も含め、FAX や押印等の業務の縮小、ペーパーレス化を図る。その際、条例や規則によりデジタル化に至っていない業務もあるため、併せて見直しや改正を行う。